

# 岐阜北週報

2月 平和と紛争予防・紛争解決月間

□ 題 字	川崎 賢二	□ 会 長	川崎 賢二	
□ 例 会	毎週水曜	□ 副会長	近藤 祐司	2022-2023
□ 会 場	都ホテル岐阜長良川	□ 幹 事	波多野光裕	No.1872
		会報委員長	湖山 浩行	23.2.8

## 前回の記録

第 1871 回 例会 2月1日 (水)  
慶祝行事・クラブフォーラム (7)

担当：国際奉仕委員会

## 本日の予定

第 1872 回 例会 2月8日 (水)  
卓話 (4) 演題『岐阜市高齢者見守りネットワーク事業』  
岐阜市地域包括支援センター長良所長 木下 武様  
担当：辻会員 大友会員

## 次回の予定

第 1873 回 例会 2月15日 (水)  
卓話 (5)

担当：林会員 古野会員

## 会長挨拶 【川崎 賢二 会長】



皆様、こんにちは。今日から2月となりました。今月は平和と紛争予防・紛争解決月間です。また、本日は国際奉仕委員会によるクラブフォーラムです。国際奉仕委員会の古野登喜夫委員長、よろしく申し上げます。

1月26日木曜日のお昼に開催しました新入会員インフォメーションを経て、本日から棚橋めぐみ会員及び、鈴木隆行会員の2名が、新たに岐阜北ロータリークラブの会員となりました。棚橋会員及び、鈴木会員、岐阜北ロータリークラブへようこそ。ロータリアンとしてのお二人のご活躍を期待しています。どうか末永くよろしく申し上げます。会員の皆様におかれましても、まだ我がクラブの右も左も分からないお二人が、我が岐阜

## 会長挨拶 続き

北ロータリークラブの一員として一日でも早く馴染めますよう積極的に交流をしてください。お二人からは、後ほど自己紹介をしていただきますので、お楽しみに。

本日の理事会でも協議しますが、来月には2回目の夜間オープン例会を開催します。お二人に続く、さらなる新入会員の獲得に向けて、会員の皆様のご尽力を賜りたいと存じます。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

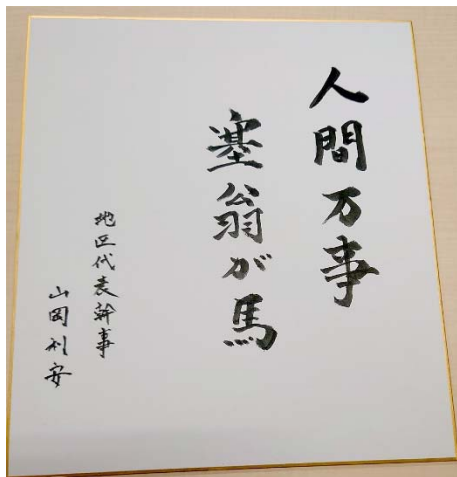
新入会員インフォメーションにて、私からロータリーの綱領とテーマについてお話をさせていただきました。私の拙いロータリー観をもって新入会員のお二人に対して説明しましたが、お話をしながら改めて『入りて学び、出でて奉仕せよ』ということについて再認識するいい機会となりました。出でて奉仕をするために、毎週開催する例会を人生の道場とし、優秀なロータリアンを多数輩出できますよう、引き続き学びの場として、例会の充実には力を入れていく所存であります。その一環として、会員の皆様の座右の銘をご紹介しております。今後とも会員の皆様のご理解とご協力の程よろしく申し上げます。

学びの場と言えば、先週ご紹介しました榊原典夫会員の座右の銘である『遅疑逡巡（ちぎしゅんじゅん）すべからず』の遅疑逡巡という言葉

## 会長挨拶 続き

葉について、大島愛子会員からご報告がありました。私の知らない言葉で意味もすごく良かったので、大島会員のFacebookに投稿し、拡散して下さったとのことでした。私もその投稿を拝読し、「いいね」を押しましたが、文章が上手く表現されており、私よりも上手くご紹介されていました。仲間である我がクラブの会員から、今まで知らなかった言葉を教わり、その意味を理解し、自身の人生に役立てる、学びの場あるいは人生の道場としましては、正に理想的であります。これから座右の銘をご紹介してまいります、一人でも多くの会員からこのような嬉しい反響がありますことを願っております。

それでは、本日の座右の銘のご披露に参ります。1月は新春特別企画としまして、第2630地区を代表する役員の方々の座右の銘をご紹介させていただいております。2月となりましたが、本日は新春企画の最終回としまして、第2630地区の地区代表幹事であり山岡利安様の座右の銘をご披露します。山岡様は、明治27年から創業100年以上続く旅館業を営んでおります株式会社ホテルパークの代表取締役社長であります。山岡様の座右の銘は、『人間万事塞翁が馬』でございます。



以下、山岡様からのご説明です。

中国の前漢時代（紀元前206年～紀元前8年）の哲学書『淮南子（えなんじ）』に記された人間訓のひとつです。「昔、中国の近辺の塞のそばに住んでいた老人が飼っていた馬が逃げたが、数か月後に足の速い優れた馬を伴って戻ってきた。老人の子どもがその駿馬に乗り落馬して足を折ったが、怪我のおかげで兵役を免れて命が助かった」という故事からきています。馬に逃げられ

## 会長挨拶 続き

たのは不運、駿馬を伴い戻ったのは幸運、怪我は不運、けれども助命したので幸運、というわけです。人間の吉凶や禍福は、転変きわまりないことをたとえています。人生の禍福（災難や幸福、不運や幸運）は予測できないことであり、不幸が幸福に、幸福が不幸に転じることもあるのだから、安易に悲しんだり喜んだりするものではない、という意味です。とのことでした。

私がこの言葉を知ったのは中学生の頃です。「東洋イソップ」という本にこの馬の話が載っていました。大変印象深かったのを覚えています。

この3年間のコロナ禍は、弊社の業種、観光業界にとってはまさに危機、禍です。しかし、何がチャンスに代わるかわからない時代です。嘆いてばかりいないで、ピンチをチャンスととらえ、今できることをコツコツとやり、次のステージに備えることが必要だと思います。とのことでした。

私の方でも調べてみましたので、付け加えます。「人間」は、当時の中国では我々人間という「人類」という意味ではなく、「世間、世の中、この世」という意味で使われており、正式には「じんかん」と呼ぶのが正しいようですが、現代では「にんげん」と呼んでも誤用ではないとされています。「万事」とは、「すべてのこと」を、「塞翁」とは「塞にすむ老人」を意味し、直訳すると、「人生は塞翁の馬のように、何が起こるかかわからない。」ということであり、「嫌なことがあっても、きっと次はいいことがあるから気にしないで。」ということから、「幸不幸に一喜一憂するのではなく、人生における幸不幸は予測しがたいものだから、大きく構えて生きていきましょう。」という励ましの言葉につながっていきます。同じような意味の言葉としましては、『禍転じて福となす』や『七転び八起き』といったものが挙げられます。

普段の生活やビジネスシーンにおいても、この言葉の意味の通り、安易に一喜一憂するのではなく、地道に目の前のやるべきことをこなしていくことを心掛けたいものです。

山岡様、本日は奥の深い素敵な座右の銘をご紹介くださり、ありがとうございました。

今日は2月1日、明後日3日は節分、そして4日は二十四節気の立春であります。立春とは、

## 会長挨拶 続き

冬が極まり、春の気配が経ち始める日、という  
意味です。新入会員も入り、春に向けていい感  
じで2月をスタートすることができました。皆  
様のお仕事やプライベートも、来るべく春に向  
けての準備期間となりますことを祈念申し上  
げ、本日の会長挨拶とさせていただきます。

本日はどうかよろしくお祈いします。

## 出席報告

会員数：39名

出席数：28名／39名

出席率：71.79%

欠席者：11名（出席免除 4名）

## 慶祝行事（敬称略）

1. 会員誕生日のお祝い
 

2月 9日	永井 秀樹	会員
2月25日	波多野光裕	会員
2月28日	辻 博	会員
2. ご夫人誕生日のお祝い
 

2月 6日	川崎 美穂	様
2月11日	谷藤 成味	様
2月12日	原尾登志美	様
2月13日	島戸 英恵	様
2月14日	長野すみ子	様
3. 結婚記念日
 

2月 9日	永井 秀樹	会員
2月11日	中野 直人	会員
2月17日	湖山 浩行	会員

## 新入会員入会式



鈴木隆行会員

## 新入会員入会式 続き



棚橋めぐみ会員

・川崎会長より鈴木隆行会員、棚橋めぐみ会員へ  
会員バッジとネームプレートが渡され、それぞれ  
が自己紹介を含め、挨拶をされました。



## ニコニコBOX（敬称略）

川崎賢二：棚橋会員、鈴木会員、入会おめでとう  
ございます。ロータリーとしてのご活  
躍を期待しています。

近藤祐司：棚橋さん、鈴木さん、入会おめでとう。  
辻 博：誕生日を祝っていただき、ありがとう  
ございます。

大島愛子：めぐみさん、鈴木さん、これからよろ  
しくお祈いします。

大友芳宏：ようこそ、鈴木さん 棚橋さん。

中野直人：今月もよろしく

**幹事報告事項**

・米山寄付金の領収書を、BOX に入れておきました。

**例会行事****担当：国際奉仕委員会**

・クラブフォーラム（7）  
「国際奉仕委員会の役割」 古野登喜夫委員長

※卓話内容は別紙 HP へ掲載します。

**次回例会のご案内**

第 1874 回 例会 2月15日（水）

卓話（5）

担当：林会員 古野会員

会報・広報 2月担当 辻 博